

マザーハウス たより

あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。

移送・出所される方は、必ずご一報ください。／皆様、23ページのお知らせをご覧ください。

表紙…ライジングさん

「ヨハネ十三章七節（聖書）のイメージ」

2020

3 月号

おまけ的新コーナー p.22～
「事務局は見た！獄中会員あるある」

- | | | | |
|----|------------|----|-----------------|
| 2 | 理事長挨拶 | 20 | つぶやき！ |
| 6 | ささきみつおコーナー | 21 | プリズムアート倶楽部 |
| 12 | 育児日記 | 21 | みんなの！回復プログラム 入門 |
| 12 | 堀の中のたより | 22 | 回復プログラム 入門 |
| 18 | 健康相談窓口 | 22 | 事務局は見た！獄中会員あるある |
| 20 | ラブリーDAYS | 22 | 行事予定 |
| | | 23 | お知らせ |

理事長挨拶

あつという間に三月となりましたが、皆さんがお過ごしでしょうか。社会はコロナウィルスで大変な状況となっています。経済にもかなり大きなダメージがあるようです。

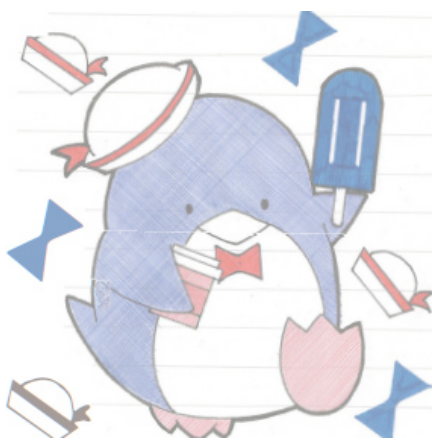
私としては、幼稚園が休みとなるため、子どもたちとの触れ合いの時間が増えて嬉しい反面、仕事の時間が削られてしまい、また、妻も悪阻で大変な状態なので、一日も早く終焉となることを願うとともに、神様が助けてくださるようにお祈りしています。

皆さんにお知らせがあります。龍谷大学社会科学研究所叢書第一二九巻『新時代の犯罪学』共生の時代における合理的刑事政策を求めて』と題して日本評論社から出版された書籍において、マザーハウスの当事者ミレーティングでファシリテーターをしている阿部寛さん（生存戦略研究所おすひ代表／社会福祉士）が、『語り』と『場』の臨床研究』と題して、また、私が「元受刑者の回復の道の

りく対立から対話へ』と題して、それぞれ章を担当しましたので、是非、お読みくだされば幸いです。

先日、カトリック玉造教会（大阪）にて「受刑者のためのミサ」を実施しました。その中で、前田万葉枢機卿はイエス・キリストも受刑者であり、このミサは「受刑者と共に捧げるミサ」であるとお話をされていました。

教皇フランシスコも必ず刑務所訪問をされています。マザーハウスの活動の中で、色々な人の声がありますが、今回、弁護士ドットコムニュースで取り上げられたものを紹介したいと思います。私はいつもキリストに生きていきたいです。決して人を見捨てることはしたくないです。どんな人間でも、その人が本気で変わりたいと思っているなら付き合っていきたいです。何故なら、それがキリストの愛だと信じるからです。



元・貴族は餃子好き♡さん

☆

性犯罪で四回服役、再び逮捕の男性

「自分でもわからない」「もうやめたい」
拘置所で明かした苦悩

「もう、性犯罪から離れたいんです」。その男性（四十代）は、記者にこう話した数日後に「強制わいせつ」の疑いで逮捕され、その後起訴された。

取材ではあんなに強い意思を語っていたのに、なぜ再び同じ犯罪に手を染めたのか。大きな衝撃を受けるとともに、立ち直りの難しさを改めて感じた。

それから約五カ月が経った今、男性（以下「石橋さん」＝仮名）はどんな思いでいるのか。二月下旬、受刑者や出所者を支援するNPO「マザーハウス」理事長の五十嵐弘志さんとともに、石橋さんがいる東京拘置所に向かった。

●「性依存症」と診断され、

週六日は治療プログラムへ

前回の取材（『もう性犯罪から離れたいんです』四回服役した男性、本心打ち明けた後に再び逮捕）は二〇一九年九月、「マザーハウス」が運営する「マリアカフェ」にて行っ

た。石橋さんは当時、刑務所から出所して約三カ月で、生活保護を受けながら「マザーハウス」のメンバーとして活動していた。

「強制わいせつ」などの性犯罪で四回の服役を繰り返していた石橋さんが、「藁をも掴む思い」で「マザーハウス」につながったのは、同じ年の七月のことだった。その後、「マザーハウス」で紹介された専門の医療機関を受診し、「性依存症」と診断された。取材時は、週六日、治療のためのプログラムに通っていた。

石橋さんは、刑務所内で「性犯罪再犯防止指導（R3）」（再犯リスクなどから必要と判断された性犯罪受刑者が受講するプログラム。主にグループワーク形式でおこなう）を受講したことは三回ある。しかし、こうして社会の中で治療プログラムを受けたのは初めてのことだったという。

●なぜ再び同じことを…「分かりません」
これまでの面会では「申し訳ない」

五十嵐さんにとって、石橋さんとの面会は二〇一九年九月の逮捕以降、今回が三度目になる。これまでの面会で、石橋さんからは「申し訳ない」という言葉もあったという。しかし、なぜ再び同じことをしたのかと聞くと「分かりません」と答えたようだ。

「本当に分かっていないようにみえました。石橋には、被害者の痛みはもちろん、自分自身の痛みも分からないのだと思います」（五十嵐さん）

その後も五十嵐さんは石橋さんに「マザーハウス」が発行している冊子や手紙を送った。石橋さんから「読みたい」といわれた聖書も差し入れたという。

東京拘置所に着いた後、五十嵐さんと面会の手続きをおこなった。番号が書かれた紙を受け取り、ソファで待つこと五分。病院や役所などの待合室と同じように、電光掲示板に紙に書かれた番号が表示され、放送で呼び出された。ロッカーに荷物を預け、身体検査を済ませた後に面会室に向かう。

面会室に入ると、間もなくして刑務官とともに石橋さんがやってきた。前回の取材時には「これから性依存のプログラムなんです。病院に行ってきます」と笑顔で去った石橋さん。アクリル板越しに再会した彼は、五十嵐さんを見るやいなや表情が和らぎ、記者にも笑顔を見せた。

●「ずっと、ずっと…」孤独だった

五十嵐さんが「体調はどうか」と聞くと、石橋さんは「大丈夫です」と答えた。「差し

入れありがとうございます」と元気に話したり、五十嵐さんの家族を気にかけていたりした。石橋さんは五十嵐さんが面会に来てくれたことに嬉しさを感じている様子だった。

しかし、五十嵐さんが「性依存症」の話を始めると、石橋さんの目から光が消えた。まるで「心ここにあらず」で他人事のように話を聞いていた。

ところが、「もう刑務所を歩き来したり、同じような行為をしたりすることはやめたいんだよね」と五十嵐さんが念を押すと、前をしっかりと向き、力強く「はい」と頷いた。石橋さんの中で「やめたい」「やめられない」という相反する気持ち葛藤しているのだろうか。

五十嵐さんが「前回受刑したときは誰も関わってくれる人がいなかったのでは」と聞くと、これまで「はい」しか言わなかった石橋さんがハッキリした口調でこう切り返した。「前回だけではないです。前からずっと、ずっと…」。

ずっと孤独だったー。石橋さんはそう訴えているようにみえた。

「いまは（石橋さんを）心配していたり、気にかけてたりしている人がいる」という五十嵐さんの言葉に、石橋さんの目が潤む。彼の言葉に耳を傾けてくれる人は今までいなかった。

たのではないだろうか。四回の服役経験をもつ石橋さんだが、面会や手紙、差し入れは、初めての経験なのかもしれない。

二十分間の面会時間を終えると、最後に石橋さんは「ありがとうございます」と笑顔を見せ、深々と頭を下げた。

●これまでの彼の居場所は「刑務所」

「マザーハウス」が受け入れる出所者の罪名は「覚せい剤取締法違反」や「詐欺」「窃盗」などさまざまだ。何度も刑務所を出入りしてきたという人もいる。再び犯罪をしてしまう人もいるが、「生き直し」の道を歩み続けているメンバーも少なくない。

五十嵐さんによると、石橋さんのように「性依存症」と診断された人を受け入れたのは初めてだったという。石橋さんとの面会后、「マリアカフェ」でコーヒーを飲みながら、彼を知るメンバーたちに話を聞いた。

青木さん（仮名・五十代男性）は「特になんとも思っていない。彼が戻ってきたときは、また今までどおり接するだけです」と話す。

一方、宮原さん（仮名・三十代男性）は「彼がどうしたら立ち直れるかを自分なりに考えましたが、分からないのが正直なところですよ」と率直な気持ちを打ち明けた。「彼の中で何

かが変わらないといけないと思います。彼は自分が性依存症であることを分かっているようにもみえました。ただ、仲間と仕事しているときは笑顔でしたし、生き生きしていたんですよ。川で子どものサンダルが流されたときは、怪我をしてまで取りに行きました。石橋には、人のために何かをしようという気持ちはあるんですよ」（宮原さん）

しかし、石橋さんはメンバーの前で「刑務所にまた行ってもいい」と口にすることもあったという。これについて、五十嵐さんは「彼にとつての居場所は、今まで刑務所しかなかったのでしょうね」と分析する。

また、石橋さんは母子家庭で育った。不在がちで、常に優秀な兄と自分を比較していた母親を「恨んでいる」と語ったこともあるという。前回の取材で、石橋さんは記者に「家族とは絶縁状態にあり、よい思い出はない」と話している。

「彼は母親を求めているのでは：そう思うことがしばしばありました。母親と同年代のシスターといるとき、彼は落ち着いたような笑顔を見せていましたから」（五十嵐さん）

●被害者を生まないために

「関わり続ける」

五十嵐さんは裁判で、石橋さんの情状証人として法廷に立つ予定だ。また、彼が社会に戻ってきたときは再び受け入れると決めている。このように考えるのは、五十嵐さん自身にも服役経験があるためだ。「立ち直れたのは、私に関わってくれた人たちがいたためです」と五十嵐さんは語る。

もちろん、石橋さんが起こした事件に被害者がいることは忘れてはならない。五十嵐さんによると、被害者は一人ではないようだ。見ず知らずの人に胸を触られるなどの行為をされれば、恐怖心を感じ、心理的なダメージを負う。被害者に対する十分なケアや支援が必要であることは言うまでもない。

しかし、新たな被害者を生まないためには、加害者に対する働きかけもおこなっていく必要がある。これについては、「加害者（犯罪者）に甘すぎる」という声も上がる。

それでも、五十嵐さんの決意は変わらない。「彼はいつか社会に戻ってきます。被害者を生まないためにも誰かが彼に関わっていかなくてはなりません。私はこれからも関わり続けます」。

☆

マザーハウスを何回となく裏切り、私を裏切り、再び刑務所に行く人がいます。しかし、私を頼って再び来る人がいます。社会には、「人を裏切っておきながら、よく来れる

な」という人もいます。でも本人は真剣であり、自分の中にある痛みというものを分かっているように感じるのです。ただ、もう二度と刑務所に行きたくないという気持ち強いのだと思います。私にできることは信じて受け入れることです。何故なら、キリストも同じようにすると信じているからです。

受刑者の皆さんにお知らせがあります。今回のたよりと一緒に、「国民年金保険料の免除・納付猶予申請書」をお送りします。各自が住民票のある市区町村役所、または住民票のあるところの管轄している年金事務所に手続きをしてください。また、委任状に基づく年金関係の調査をする際は基礎年金番号が必ず必要であり、不明な方は住民票と在監証明書が必要です。お送りください。

今月も年金請求書の受付完了があり、おね五十日後に年金証書・年金決定通知書が受刑者の手元に届くことになっています。社会復帰のためにもとても大切な行動であると思います。面倒なこともかもしれませんが、更生のための第一歩だと思います。

また、「会費を支払うことができないので、社会復帰後に支払います」という架空の話は止めて欲しいです。自分で必ず実践できることを手紙に書いて欲しいです。綺麗事はどうでもいいと思うのです。会費を払えなくても、是非、送付した冊子等の感想を送って頂きた

いです。それが支援者にとって大きな力になると感じます。

会費を払うこと、送られたものに感謝を伝えること、感じたことを書いて送ること、回復プログラムに取り組むこと、等々、自分ができることをしてほしいです。「今は刑務所にいるから何もできない」ということは決してないと思います。「会費を払えませんか」という方は、送られたものの感想どころか、支援者への感謝の言葉や、移送・出所の連絡さえしない人がほとんどです。「できない」のではなく「やらない」のだと思います。「会費を払えないから、送るのはたよりだけいい」という方も同じです。

会費を払えないから、受け取るものを減らせば良いのでしょうか。むしろ、他のできることを精いっぱいすることが大切なのだと思います。

受刑者の皆様にお願いがあります。最近、フランススコ事業部に関して納期が遅いとのクレームを頂きますが、こちらも少ないスタッフの中で努力しております。スタッフの全員がボランティアで関わっているのです。今後、納期について長くて四ヶ月ぐらいは見えて頂きたいです。それでも納得がいかない場合は、フランススコ事業部を閉鎖することを考えるつもりです。何回も納期について言うのであれば、別のところをお願いしてください。

ボランティアスタッフは多忙の中、少しでも皆さんが安値で購入できればと考え、善意で行動しています。自分で代金を支払っているのだから早急に実施するのは当たり前、と考えるなら、自分の家族に依頼して頂きたいです。当法人では対応ができません。今後もしできる限り努力していくので、ご理解のほど宜しくお願い致します。



光りんさん
「もう起きなさい！春ですよ！」

やさきみつお コーナー

A・Mさんの証

★A・Mさんの証をご紹介します。

☆

【ONLY ONE WAY】

一・高校生時代

「右手には新約聖書、左手には内村鑑三、足にはサッカーボール」

私が最初に聖書を読み始めたのは、高校生三学期の終わり頃です。社会科のクリスチャンの先生が授業の中で一言、「信仰を持つ者は実は強いのだ」ということを話しました。その当時、私はぜひとも強くなりたかったので、「どうしても聖書を読みたい!」と思いました。

*ブログ：<http://ixsasaki.ti-da.net/>

早速、学校の帰りがけに新約聖書を買いい、マタイの福音書から読み始めました。私はかなりの読書家でしたが、「不思議な本だ!今まで読んだ本とはまるで違う!」と思いました。なんと、スーツと素直に聖書の内容を受け入れることができました。

その先生が卒業した大学の総長は、内村鑑三の弟子でした。その先生も彼の全集を持っていると言うので、私も彼の本を買って読み始めました。

こうして三年生に進級し、「右手には新約聖書、左手には内村鑑三所感集、足にはサッカーボール(放課後は部活でサッカーに明け暮れていました)」という毎日でした。また、日々祈ることを始めました。

国語の授業で、「自分の将来について書いてみよう」という課題が出され、「私は生涯イエス・キリストを主として従って行く決断をした!」と迷わず書きました。

ところが、教師が、「さあそれでは、四人一つのグループになって回し読みしよう」と言ったので、大いに慌てました。

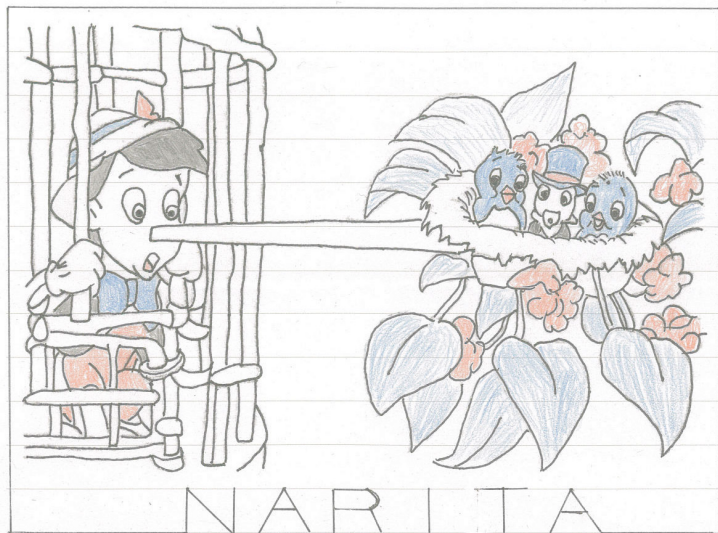
ある時、サッカーの公式戦の直前に、急に不安に駆られ、「ちゃんとプレーできるんだろうか?」とひどく心配になりました。試合直前のミーティング中、心の中で「イエス様、助けてください!」と必死に祈りました。そ

して、キックオフ。すると不思議にも、あれほどの不安が霧のように消え去り、まるで宙を舞うようにプレーできたのです!「○○だ!○○にボールを集める!」と、ベンチからもピッチからも私の名前を連呼しています。試合中、フォワードとして次々と相手を抜き去って、ゴールに向かい続けることができました。

その数ヶ月後の部活最後の試合でも、納得できるプレーができ、自宅で跪いて感謝の祈りを捧げました。

そんな高校三年生でしたが、周りにクリスチャンは(家族親戚を含め)誰一人いません。教会もどう行ったらいいか分かりません。

聖書を読んで、何より一つの重要なことに気がつきました。聖書には、「イエス・キリスト以外に救いはない」とあることです。最初にこれを知った時、私は思いました。「これは大変なことを知ってしまった!イエス様を信じ受け入れれば、その人の霊は救われ永遠の命を得る。しかし、イエス様という救い主を受け入れなければ、永遠の滅びなのだ!」「これは大変だ!周りの人たちは、親兄弟を始め、誰一人これを知らないぞ、いや、これを聞かされてもない!一刻も早く皆にこれを知らせなくちゃ!」「いたいこれ以上重大な知らせが他にあるだろうか?何せ、永遠の命か、または永遠の滅びかがかかっているんだ!」



NARITAさん

小学生の頃、「交通ルールを守らないと大変な事故にあいますよ」と、人形などを使って繰り返し教えられましたが、この永遠の命に関わるからこそ全ての人に繰り返し告げ知らされるべきことです！まさに緊急事態です。

毎晩ベッドでちゃんと跪きながら必死で祈りました。「何とかこのことを皆が信じますように！」と。また、日本人の殆ど全員がこの重大な知らせを知らされていないのは啞然とするほどでした。母親や父親には何と切り出したらいいたろうか？友人達にはまだ話しやすいだろうか？

その頃、夏の合宿前に怪我をして、しばらくグラウンドでの練習ができず、体育館の筋トレルームで過ごすことになった時、「ああ、この場所で、一人で祈りに集中できる」と思ったのを覚えています。

しかし、秋が深まり部活も最後の大会を終了すると、大学受験一色です。以前よりは熱を入れて聖書も読まなくなり、逆に、「イエス・キリストだけが救いとは、余りに厳し過ぎやしないか？」という疑問が強くなりました。

二．学生時代、そして就職 「聖書から離れて」

大学に入学し、賑やかな学生生活が始まりました。私は祈ることも、聖書を開くことも、ピタッとやめてしまいました。やはり、「イエス・キリストだけが救い」ということがどうにも理解できません。

そして、「キリストが唯一の救い」という聖書の真理に反発するかのように、聖書以外の古今東西の哲学や文学書を片っ端から読み漁るようになりました。中には夢中になるようなものもありましたが、観念をエキサイトさせるばかりで、本当に納得できるものには出会えません。

大学一年の冬に近い季節の頃、いつものように古本屋街のある店から立ち読みをして出

てきた時です。ハッと驚きました。自分の心にポツカリと大きな穴が空いているのが分かるのです。「何としてもこの穴を埋めなければ！」と考えました。しかし、直感的に分かったことは、「ああ、この穴は自分の力では絶対に埋まらないな」ということでした。

やがて、大学を卒業し、型通りに就職し、社会人になりました。でも、「何とかして本当のことを知りたい！」という思いは募るばかりでした。そこで行き着いたのが仏教哲学でした。普段は会社帰りに遊び歩く日々でしたが、ゴールデンウィークには、一人で地方の禅寺まで出かけて、座禅会に参加したりしました。「永遠というものがあるなら、それを頭で知るだけでなく、本当に体験的に知りたい」という思いはどうしようもなく強くなりました。そこで、「仏教や東洋哲学の源流であるインドに行き、徹底的にこの道を追求めて来よう」と決心しました。思い切って会社を辞め、私はインドへ一人旅に出かけたのです。

三．インドでの放浪の旅 「本当の真理を求めて」

インドでは、あちこちの安宿を転々としながら、ヨーガの研修所やアシュラム（道場）を訪ねて旅を続けました。でも、世界各国から人々が集まり、自分も参加はしているので

すが、どうにもピンと来ません。「早く何とかしなければ」と焦る気持ちが常にありました。

ムンバイの駅に近いヨーガの研修所に宿泊していた時のことです。さらに奥地に進むべく汽車の予約をしようと駅の予約センターに行きました。

すると、たまたま向こうから歩いて来た白人女性が目にとまりました。「どちらから来たんですか？」と聞くと、彼女はイギリス人で、私がこれから汽車の予約をして出かけようとしているところから下って来たと言います。「それはちょうど良かった、あちらはどうでしたか？」と様子を聞くと、「最悪！」との返事でした。その一言で、私は急遽行き先を変更し、同じ研修所に滞在していた日本人にも聞き、別の場所へ向かいました。こうして、数時間汽車に乗り、あるヨーガカレッジで数ヶ月過ごすことになったのです。そこには日本から来た方もいました。

しばらくの滞在の後、再び汽車の長旅で国境を越え、ネパールに入りました。殆ど座席にお尻が着いている時間がないほどのでこぼこ山道を古いバスで越え、首都カトマンズに到着。ネパールにひと月滞在する間に、ヒマラヤ山脈のベースキャンプ近くまで一人で登り、その威容に圧倒されたりしました。

しかし、私の内側はどうにも埋まりません

でした。初めは何年もインドにいる意気込みでしたが、ほんの半年ほどで失意の内に日本に帰ることになるのです。

四・聖書と再会

帰国後、外国人に日本語を教える仕事を始めましたが、暗中模索が続きます。そんなある日、インドで数ヶ月過ごしたヨーガカレッジで出会った女性が連絡をくれました。彼女はお寺の尼さんで、「あなたがそれ程までにヨーガや仏教に興味があるなら、自分の地元のお寺まで来て、そこを拠点に色々見て回ったらどうか」と言ってくれたのです。そこで私は正月休みを利用して彼女の地元まで遠路を出かけ、いくつかの寺を巡ったりしました。

そして、遂に結論が出ました。「私が求めているものはここには無い」という結論です。実にハッキリと分かったのです。仏教、東洋哲学、ヨーガなどなど、会社を辞めてまでして、人生を賭けて追求してきたものには、自分が求めているものは無かったのです。

がっかりを通り越して、気落ちしたまま、ひとりフラフラとビジネスホテルに戻りました。夕飯と一緒に飲んだ酒にもちっとも酔えません。仕方なく椅子に腰を下ろし、何気なく机の引き出しを開けると、そこに聖書が置いてありました。「聖書？」と思いながら、

何気なく開いて見ると、最初に開いたページの中の、真っ先に目に飛び込んで来た言葉にこうありました。

「過ぎ去った時代には、あなたがたは、異邦人の好みにまかせて、好色、欲情、醉酒、宴楽、暴飲、気ままな偶像礼拝などにふけてきたが、もうそれで十分であろう」(第一ペテロ四章三節)

「もうそれで十分であろう」という言葉が心に飛び込んできて、「神が私に語っている!」ということが分かりました。そして、高校時代あれほど熱心に聖書を読んでいた記憶が、文字通り走馬灯のように心の中を駆け巡ったのです。まさに神ご自身の語りかけでした!私はひたたくるようにその聖書を手に取り、帰途に着きました。

五・マザーテレサの映画

再び聖書を読むようになったので、何か信仰の本を買おうと思い、自宅に帰って三日後に、あるキリスト教書店に行きました。そして、何となくでしたが、マザーテレサの小冊子を買いました。

インド滞在中、カルカッタの彼女達の施設に寄ったことがありました。その時は彼女達の偽善を見抜きに行こうと思って行ったのですが、行ってみてビックリしてしまいました。

あの厳しいカルカッタの環境の中、奉仕しているシスター達の目がキラキラと輝いているではないですか！あんな風に輝いている目を見たことはありませんでした。偽善を見抜きに行ったつもりが、すっかり感動して献金までして帰ったのでした。帰りに、「Love to pray」というマザーの言葉の入ったコピーをいただき、大事に旅の間持ち歩いていました。

さて、本を買った後、なぜかふと「学生時代に歩いた通りを歩きたい」と思い、大学から駅に至る道をのんびり歩くことにしました。駅に着いたので、そのまま家に帰ろうとして、目を上げると、大きな字で「マザーテレサ」と書いてあります。「つい先ほど彼女の本を買ったばかりだったんだが」と思いつつ、よく見ると、駅前の映画館で彼女のドキュメントフィルムが上映されていたのでした。上映時間を確認すると、もう間もなくです。「これは、見ろってことか？」と、映画館に入りました。観客は殆どいなく、私以外ほんの数名しかいませんでした。



一兵さん

室内が暗くなり、映画が始まろうとしました。まだ始まってはいないのに、私はこの段階で涙を流し始めたのです。映画が始まってしまったら、もう涙がとまりません。いや、正確に言うとは号泣したいのですが、わずかな他の観客の手前、必死に歯で服の袖をぐつと噛んで耐えているだけなのです！それほどまでに心を揺さぶられました。

マザーが、「私の祈りを天のお父様は何でも聞いて下さる」と言って、厳しい戦火の中に取り残された施設か病院の子供達を救出すべく祈ると、彼女の祈りによって子供達を救出する間、戦火が一時止まってしまうくたりには、非常に驚きました。「こんなにも祈りて聞かれるんだ！」と。

もっと衝撃だったのは、彼女の働きを紹介している神父の言葉でした。「多くの人は、マザーテレサはとても偉い人で、優れたヒューマニストだからこのような活動をしていると言うが、それは全くの誤解だ」と。「彼女は、ある日インドのカルカッタに行く途中、汽車の中で現実にイエス様にお会いして、イエス様から、『あなたは最も貧しい場所に行き、最も貧しい人々に仕えなさい』と言われた。だから、この働きをしているんだ」と。「イエス様って、お会いするものなんだ！」「イエス様って、実際にお会いするお方なんだ！」ということを知ったのでした。

六．心のノック

「忘れがたい出来事」

外国人に日本語を教える仕事をしていた時、忘れ難い出来事がありました。私が勤めていた日本語学校の中国人学生がトラブルに巻き込まれ、それが原因でビザが下りず、帰国しなければならなくなってしまったのです。その学生は例外的に真面目で誠実な人でした。そんな学生が志半ばで帰国とはあんまりだ、と私もとても同情し、八方手を尽くしたのですが、どうしてもありませんでした。彼は日本に来てキリスト教会に通い始めていました。私の職場の机の前で聖書をめくる彼の姿を今も思い出します。

彼から、「教会の人からクリスチャンの弁護士を紹介してもらったから、その弁護士と一緒に私に入国管理局に行って掛け合ってくださいませんか」と言われました。そこでその弁護士さんと本人と私と三人で入国管理局に行き、色々と交渉しましたが、やはり上手くいきません。

「これは、やはりダメか。あまりに残念だ」。そのうち学校が夏休みになり、しばらくその学生とも顔を合わせず、もう帰国した頃かと思っていました。そんな時、私の自宅にその学生から電話が入りました。何と、「ビザが下りて、このまま日本にいられるようになり

ました」と言うのです！「えっ！？本当？」と驚きました。祈りが聞かれたとのことですから不思議です。絶対ダメだったはずなのに。

この学生はこれがきっかけになり、教会で洗礼を受けました。そして同時に、私も彼の洗礼のことを聞いた時、確実に自分の心がキリストにノックされていることが分かりました。私は彼に言いました。「ぜひ、あなたの行っている教会に連れて行って欲しい」と。

後で知ったのですが、実は、彼は弁護士から信仰のチャレンジを受けていたのです。「あなたのビザの更新は法的には不可能ですが、しかし、聖書に書いてある通り、天地万物を造られた全能の神にできないことは何もありません。あなたが本気で神を信じて求めるなら、ビザの更新も可能です。もしあなたが祈ってビザ更新が認められたら、キリストを信じて洗礼を受けますか？」と。

また、その弁護士は、私と一緒に入国管理局で順番を待っていた数時間、「どうかこの青年（私）が、いつの日にか、キリストを信じて救われますように」と祈ったそうです。

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであらう」（黙示録三章二十節）

七．魂の遍歴の終止符

「百パーセントのクリスチャン」

学校の学生と教会のある駅で待ち合わせ、いよいよ人生初の教会です。「いったい教会にはどんな人がいるんだろう？」と注目していると、教会のとびらが開き、一つ前の礼拝が終わって最初に出て来た女性が目にとまりました（彼女は後に私の妻となりました）。

礼拝が始まり、牧師のメッセージの中で、「クリスチャンとは百パーセントのクリスチャンのことである。八十パーセントでも、九十パーセントでもない、九十九パーセントでもない。百パーセントのクリスチャンがクリスチャンである」というメッセージを聞いた時、「私の魂の遍歴はこれで終わった！」と悟りました。

言い換えれば、イエス・キリストが自分の救い主であることを百パーセント信じる人が本物のクリスチャンであるというわけです。私はこれを心の底から納得しました。



一兵さん

八．イエスとの現実の出会い

「聖なる神」

日本語学校を辞める日になり、それまでの仕事仲間と終電過ぎまで飲み明かし、朝帰りとなりました。「さあ、これからの人生どうなるんだろう」。

日本語学校に一人だけクリスチャンの職員がいました。彼女は私の周りにいるようになった初めてのクリスチャンでした。

私の母親の年代に近い女性でしたが、彼女は私達と職場の飲み会に参加した時、二次会で下手なカラオケをがなる私の低俗さに呆れ果て、その場で、「神様、どうかこの青年を、讃美歌以外歌えない人にしてください！」と祈ったそうです（見事にその祈りはかなえられました）。

彼女が信仰の本をプレゼントしてくれました。その本の中に、「神様にお願ひばかりする祈りではなく、『神様、僕（しもべ）はここにおります、どうぞお語りください』という祈りをしなさい」とありました。

「そうか、じゃ、私もそうしてみよう」と思い、夜寝る前に、「神様、私はここにおります。どうぞお語りください」と祈りました。が、何もありません。「なーんだ、何も起きないや」と思って寝ようとするのですが、全

く眠れません。「あれ?」と思い、聖書をめくったりしている時、はつきりと見えて来たのです! 神が聖い! という事が。神が聖いということが、はつきりと見えて来たのです!

「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満つ」(イザヤ六章三節)

「ああつ! このまま神の前に出たら私は間違いなく滅びる!」。神の聖さに照らされて、遂に自分の罪が明らかにされたのです。恐ろしさの余りガタガタ震え始めました。

その時です。イエス様がはつきりと現れてくださったのは。そしてイエス様は、私の肩に手を置いてくださり、「あなたの罪はすべて私が背負った」と言ってくくださったのです。肉の目で見えたわけではありません。また肉の耳に聞こえたわけでもありません。しかし、肉の目で見るよりも、肉の耳で聞くよりも、はるかにはるかに はつきりと分かりました。

涙が溢れ、声を上げて泣きました。そして泣きやんだ時、全く自分が変わっているのが分かったのです! あの埋まらない筈の心の空虚な穴は見事に埋まっているではないですか! 今や私ははつきり知りました。「イエス・キリストだけが唯一の救い主なのです! 他に救いはありません」。そして、「ああ、私は福音の伝道者になるんだ」ということが分かった瞬間でした。

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われしました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。あなたがたは、羊のようにさまよっていました。が、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです」(第一ペテロ二章二十二〜二十五節)

九. 全世界へ派遣

こうして、私の生きている目的がはっきりしました。それは神に栄光を帰することです。具体的にはどういうことでしょうか。

「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」(マルコ十六章十五節)

「私にできるだろうか?」などと考えるのは間違っています。なぜなら「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」(ピリピ四章十三節)と書いてあるからです。もし黙れば、石が叫ぶでしょう。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネ三章十六節)

「イエスは彼に言われた。わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」(ヨハネ十四章六節)

——二〇一七年、エルサレム神殿奉献記念祭の日に記す(この内容は一九九〇年の洗礼の際に発表した文章に付け加えたものです)。



一人一人の花の命

あなたの思いやりに
ありがとう
あなたの優しさ
ありがとう
あなたの存在に
ありがとう
心の底からの
ありがとうを
あなたに伝えたい

マザーハウスの
家族の皆へ

丁 拘 Hさん

五十嵐亜利沙(妻)による

育児日記

悪阻で体調が悪すぎて、倒れこんで「もうだめかもしれない…」と言うと、隣にいたA君が「だめだと思ったならだめになるよ、ならないと思ったらならないよ!」と叱咤激励してくれました。ある時は、「体調が悪い私に変わって、みんなが幼稚園のお迎えに行ってくれて良かったね」と言うと、「でもみんな大変なんだよ!」と叱られました。

就寝前には、「今日幼稚園でママの似顔絵書いたんだよ!」いつも料理してくれてありがとう!」ってメッセージも書いたの」と言い、急に泣き出して「うっうっうっ(泣) ママイつもお料理してくれてありがとう、大好きだよ(泣)」と純粋な涙を流してくれたのですが、次の日の夕飯の時に、お魚と野菜中心のおかずを見て、「えーこんなの食べたくない!」と文句を言っていました。昨日の涙は何だったのだろうかと思いました(笑)。

長女のKちゃんは、いつも帰りが遅いパパと一緒に寝たいらしくて、寝る前に「パパとずっと一緒に寝れますように、アーメン」とお祈りまでするのですが、いざパパが夜中に帰ってきて、寝ているKちゃんと一緒に寝よ

うとすると、寝ぼけ顔で「やめてよ!やだ!ママがいい」と言って私の隣に来て寝ます(笑)。

次女のRちゃんはお話が上手になってきて、「ママきらい、プン!」と言っていたのがとっても可愛くて、A君とべた褒めしました(笑)。



塀の中のたより

受刑者からこんなお手紙が届いています

健康の基本は、
普段の生活の中で維持していくこと

S 刑 H さん

通信教育のテキスト、大変ためになりました。有難うございます。僕は健康について、受刑者になって気付いたことがあります。刑務所では、社会にいる時のようにまともな医療が受けられないことは周知のことと思いますが、そんな中で、自分の体に不調や不安を感じた時、自分で何とかしないと、と危機感を抱いて行動に移す人が結構いるということです。

一番顕著なのは、歯磨きだと思います。僕自身もそうだったのですが、社会にいた時は毎日寝る前に一分くらいで簡単に済ませていて、虫歯などになっても治療が面倒で放置していた時もありました。ですが、刑務所に来て、虫歯や歯周病がひどくなって歯が痛くなったりしても、ちゃんとした治療が受けられず、このままではまずいと気付いていくことになるのです。もちろん、これまでと同じように何も気にしない人もいるし、望む検査や治療が受けられないことは大きな問題であるので、このままで良いとは思いませんが、健康の基本は医療に頼ることではなく、普段の生活の中で維持していかなくてはならない、ということに気付けたのは良かったと思います。

ただ、そうは言っても、現状、自分で気を付けることに限界があることも問題であると思います。いくら歯磨きが大切だと分かっても、ここでは普通の歯ブラシしか買えません。普通の歯ブラシだけでは、いくら丁寧に磨いたところで六〇七割しか磨けないという事実があっても、歯間ブラシやデンタルフロスすら買えません。プロケアを受けさせる、とまでは言いませんが、医療が大きく制限される以上、せめて歯間ブラシやフロス、電動歯ブラシなどぐらいは購入できるようにして、自分で健康を維持する行動を取っていかないと、学んでいけるようにすることが、その人個人の確実な社会復帰に繋がり、公私ともにより良い社会へ繋がっていくのだと思います。

時間が過ぎて残るもの

ライジングさん

以前から、会費を払わない人がいるというお話をよく聞いています。私は優遇別集会のお菓子を、四旬節の期間はもちろんですが、それ以外にも不定期ですが辞退し、その金額分の切手を子供食堂や福音点字情報センターなどに寄付するようにしています。その行動の意味は、「今刑務所に拘束されているから何もできない」と言っている人は、恐らく出

所後も「今出所したばかりだから……」「今は忙しいから……」など色々な理由をつけて、「自分の利益にならない事は何もしない」と思うからです。私も、逮捕される前は自分の利益しか考えない人たちの中の一人でした。

そんな私を変えてくれたのは、やっぱり、キリスト教だと思っています。憧れの人は「善いサマリヤ人」（ルカ十章二十五〜三十七節）です。あの節を読むたびに感動して涙が溢れてきます。私が集会菓子辞退の紙に指印を押す時、寄付の手紙を発信する時、あの善いサマリヤ人が宿屋の主人にデナリオン銀貨二枚を渡す時の気持ちを追体験できます。それは、少しの勇気と神への感謝です。

皆がお菓子を食べている時間は少し苦しいと感じるかも知れませんが、それは一瞬のことです。その時間が過ぎてしまえば、残るのは何でしょう。そうですね、お菓子を食べた人たちはウ〇コですけど、辞退した私たちには、勇気の自覚と切手を寄付できる喜びで、心がじんわりと温かくなってきました。そして、お礼の手紙でも頂けた日にはもう空でも飛べそうな気分になります。これはオススメですよ！一度だけでもお試しあれ！そして、会費も極力入れましょうね。



ライジングさん

継続して支援してくださる方の 原動力とは

N 刑 K さん

まず、性被害者のにのみやさんの記事（マザーハウスたより二〇一九年七〜八月号）に対する感想を書きたいと思います。

私が現在、刑務所にいるのは、性犯罪によるものです。逮捕から十年近くが経ちましたが、今後二度と同じことをしないと力強く断言できることはありません。それほど自身を過信しては良くないでしょうし、皆さんも分かるの通り、事件と向き合うべき環境からかけ離れた状況に置かれているからです。

性犯罪には教育プログラムがありますが、長期刑の場合は犯行時から相当な時間が過ぎてからになります。ですから、効果が薄くなってしまうのではないかと思っています。

先述した通り、私は自分自身を不安に思っているのですが、性犯罪に関する本を読んでいます。それがただでは足りないと思っています。そんな時にこの記事を読むことができて、本当に意義がありました。

「一日一分でもいいから被害者のことを思っ
てほしい」ということが書かれていました。私自身、これから先どうすれば再犯をしない

かとは考えますが、正直なところ、被害者の方のことを思い浮かべることはほとんどありませんでした。にのみやさんもおっしゃられていたように、被害者の方のことを覚えていないことに加え、警察や検察に「あまり被害者の方を記憶に留めるのは良くない」と言われたりもしました。こうしたことで、加害者と被害者の方の間に隔たりができてしまう、ということを変えて考えさせられました。本来は、刑務所側や行政側がこのようなことに気付かせてくれるのが良いと思うのですが、そうした機会はありません。被害者の方が自身の辛い体験を元に、こうしたことを教えて（気付かせて）下さったことにとても感謝を受けました。

次に、『百万人の福音』についての感想を書かせて頂きます。私は必ず最初に読むページがあります。それは最後の「プリズム募金の報告」という箇所です。本来はきちんと順番通りに読むべきなのでしょうが、私はどうしてもここから読んでしまいます。理由は、受刑者のために手を差し伸べてくださる方々の愛を感じることができるからです。私は、名前も顔も知らない受刑者のために同じようなことができるかと自問しました。一度はできるかもしれませんが、継続して行うことは難しいと思いました。しかし皆さんはいつも支援して下さいます。見返りも求めずに、受刑者といった立場の人間のために尊い募金

をして下さる原動力は、一体何なのか？ととても気になりました。

そのように考えるようになってからは、送って頂いている『百万人の福音』の中に答えがあるのではないかと思って読むようになりました。まだまだ答えが私には見つかっていませんが、必ず答えを見つけ、皆さんの気持ちが理解できるようにになりたいです。プリズム募金という行為は本当に私の価値観を変えて下さっております。募金をして下さっている皆様が健康に日々を過ごされることを願っております。

一つ残念なことを聞いてしまいました。以前からたより冒頭の理事長挨拶などにも書かれている、他人の気持ちについて考える、ということに関しての出来事です。話をしていた人も、たより等を送って頂いているのですが、「キリスト教に興味はないから本は読まない」と言っていたのです。じゃあ送ってもらわなければ良いじゃないか？と心の中で何度も考えていましたが、実際、言葉にすることは刑務所という場所柄ゆえ、できませんでした。こうしたことをはつきりと耳にしたのは初めてで、とても驚きました。

毎月返送されてくるたよりの多いのは、きつとこうした考え方が多いからなのでしょうね。とても考えさせられる機会になりました。

逆の立場で考えたら

丁刑 Mさん

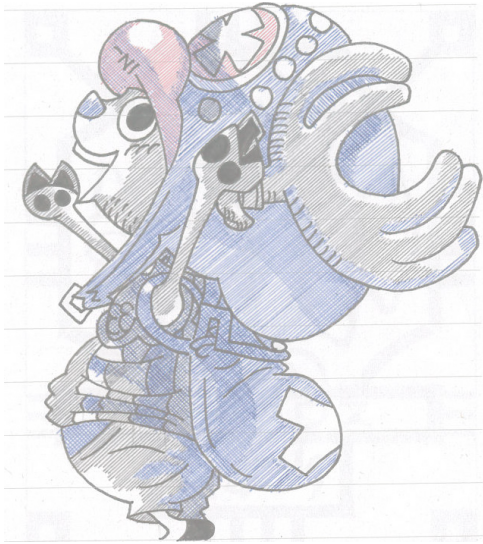
たより十二月号で「被害者の実状を知って」（幸いさん）を読み、共感しました。自分も強姦致傷で務めており、嘘は言っていませんが、量刑が怖くて卑怯なことばかりします。

被害者の記憶が抜けていたり、あやふやだったりしたら、少しでも事件内容が優しい表現になるように、例えば「ナイフは見せた」と言います。本当は、「勢いよく目の下に寸止め」です。見せたことは同じですが、心の傷は深いです。その後の様子は、「殺さないで、殺さないで」とそう言ってパニックになって、歩く時もフラフラしていました。被害者の調書を読むと、言葉にできなかった悔しさや怒りが伝わってきます。言いたいこと、そのまま言えないことも伝わります。それでも私は自分が可愛いから、自分は最低な男だと自分に思います。女性一人の人生を奪って、なお、自分が可愛いと思うから、最低すぎます。今でも、少し幸せになりたい気持ちがあります。だから自分の人間性に嫌悪感があります。

性被害を受けたことで体調が悪くなって会社に行けなかった、そのことに対して同僚から「ずる休みしているんじゃないか」など嫌味を言われた、会社の人から嫌味を言われても本当のことを説明することはできないと、

被害者の方が言っていました。自分が逆の立場なら、そんな現実には耐えられるだろうか？その同僚と普通に関われるか？表情も暗いなどと言われたそうです。原因は性被害を受けたせいなのに。逆の立場で考えたら、正直全てが嫌になります。

自分も所内で表情が暗くなりがちです。イライラしがちです。他人より刑が長いからです。自分の犯罪に原因がありますし、同囚も「あいつは刑が長いから」と、それぐらいは理解されてきました。でも被害者は、何一つ周囲から理解されず、原因は他人から理由もなく被害を受けたことにあります。逆の立場で考えたら、どのようにして現実を乗り越えるだろうか、社会と調和していけるだろうか、分かりません。



F 刑 Wさん

また、少し前まで、大変な勘違いをしていました。以前載っていたにのみやさんの原稿を読み、にのみやさんの行いは何のためなのか？加害者を支援する（被害者を少なくする目的の一つとして）被害者は何故そんなことができるのか？憎い加害者側に何かすること、自分の心が楽になる…そういうことだと私は思っていました。私は最低な男なので、この程度しか考えが及びませんでした。物事をなめていました。自分の愚かな勘違いに、非常に強い怒りがあります。

そんな素晴らしいこと（加害者支援）ができるのは、被害者の中に信じるもの（人）があるから、そんな強い生き方ができるのだと気付きました。それを気付かせてくれたのは文通相手です。たよりでよく言われている、「なぜ自分が刑務所にいるのか？」「人は人により回復する」「社会と繋がるための文通」「孤独に耐えられる人はいない」…全て間違っていないと気付きました。今まで、ずっと綺麗事だと思っていた自分の考えが綺麗事だと思えました。

刑務所の中にも、私のことを、「強姦で来ている（刑務所に）」「女をイジメた奴」「あんな奴は相手にすんな」「何したん？（知っててわざと聞く）」「あの性格がダメ」などと、直接、また陰で聞こえるようにわざと色々な方法で非難する人は沢山います。そうやって、人の弱点や弱い面を狙って攻撃する人は、私

と同じ価値観を持つ弱い人間です。実際、私も弱い者イジメをしたり、不利な立場にある人に攻撃をしたりしがちです。イライラするからです。過去や現在の不満や不幸、未来への不安で虫唾が走るからです。嫉妬します。イジメたら心が楽になります。

「人により回復する」「人との関わりで人は変わる（更生する）」、その通りだと思います。そのためには心のケアが必要です。そうしないと人を大切にできません。だから大切にもされません。ケアしないと相手の気持ちも分からないんです。

自分の欲で、女性に徹底的に冷たい仕打ちをして人生を奪って、刑が終わって娑婆へ出たら、自分の過去はなかったこととして忘れる、忘れるようにする。そんな冷酷な人間にはなりたくないです。そんなことをしていたら、私はきつと他のことでも周囲の人に冷たい仕打ちをして、自分も仕返しされて…そういう人生は本当に送りたくないです。性犯罪を繰り返す可能性がある、ないに関係なく、自分の犯した罪と向き合いたいです。

逮捕されてから九年近くが経とうとしていますが、私は最初から罪名や刑期（内容は話していない）を隠しませんでした。（自分のことを公にするなんて）私が初犯だから分かっているんじゃない」という声も沢山聞きました。何度も刑務所に来ている方が経験上そう思う気持ちはよく分かります。「もう（私の悪口を）

言ってやんな」という心ある声も、たまにありました。しかし、現実には非難されなければ絶対に気付かなかったことがあるのも事実です。

出所後に改名すべきかどうか

について

K 刑 A さん

NHKで「出所者の改名」について取り上げられていて、マザーハウスの出所者の方が出ていました。

インタビューを見て思ったのは、「どっちもどっち」ということです。インタビューは「協力雇用主がいるんだし、そこで仕事すれば名前を変えなくてもいいでしょう」と言い、インタビューを受けた出所者の方は「前科を知られたくない。知られたくないから名前を変える」と言っていました。

まず、雇用主だけが事件のことを把握していて、他の関係者は何も知らないっていうのは問題があるように思います。そして、雇われる側は、好きで作った爆弾を隠す。その気持ちはよく分かります。私は重い罪で入所しましたが、刑務所にいる今でも話そうとは思いません。だからこそ思うのは、爆弾はどんなに隠しても爆弾であり、無力化するには解

体する以外にないということです。幸いにも、今は少数でも協力雇用主やマザーハウスのような団体があります。こういったところで少しずつ解体して、ゆくゆくは一般の方たちにも手伝ってもらえればいいと思います。

自分が何をして捕まり、犯罪者になったのか、一般の方に話すのは辛いと思いますが、包み隠すのはさらに辛いし、邪魔になる。それなら、何もかも話してしまう方がいい。そして、話すときは拒絶されるのは当たり前。受け入れられたら良い人に当たった、と思うくらいでやる方が良いのではないかと自分は思います。

それから、話すことは両者を安心させるんじゃないかとも思います。他人に話すということは、その事柄（罪）と向き合わないといけないし、信用や信頼が無ければ無理です。そういったわけで、隠したり変えたりするより、ありのまま出した方が良く、というのが、テレビを見ての私の感想です。

正しいことって何？

youすずめさん

先日のある朝のことです。七十代のおじいちゃんが検身場（行き帰りに、シャツとパンツになって変な物を持っていないか検身を受

ける所）に手提げ袋（トートバッグのようなもの）を持って入って来ていました。年配者のお世話係的な立場を任されていた僕は、交談許可を申し出たのですが、担当は「何だ？」と言ってきて、僕が、おじいちゃんが間違えて持って来ていることを教えてあげようと思っていることを伝えると、「そんなもん自分でやらせろ」と言われ、その後朝礼で「人のことやってあげたり、手伝ったりする必要なんてないから。やってあげたから、手伝ってやったんだから、あれやって、これ買え、とかの揉め事の原因だから」と全員の前で言われました。

都合の良い時は「社会復帰するにあたって、こうしろ、ああしろ」と言うけど、刑務所内で都合の悪いことには、「ここは一般社会じゃないから、刑務所だから」と言います。もちろん、社会復帰するにあたり、そうした方が良いこともあります。困っている人に手を差し伸べたり、手伝ったりするのに、刑務所とか一般社会とか関係なくないですか？確かに、「これやってあげたんだから、手伝ってあげたんだから、これやってくれ、買ってくれ」と繋がる可能性があるのは理解できますが、全員が全員、下心があるわけじゃない。

「刑務所だから」って正しいことをしない理由にしたなら、社会に出ても何かに理由をつけて正しいことをしなかったり、理由をつけて犯罪に走ったりしてしまうのではない

でしょうか。それに僕は一生刑務所にいるわけじゃないので、刑務所で通用する人間ではなく社会で通用する人間でありたいです。理事長がよく言っている「一般社会における常識は、刑務所では非常識」というのは、こういうことではないだろうかと思えます。

僕は人に興味がないし、他人の人生がどうなるうが、それこそ死のうが生きようが、どうでもいいし、知ったこっちゃねえと思っていました。でも、逮捕され、約九年でその考えも変わって来ました。「このままじゃ、また刑務所に来る」と思えるようになり、困っている人に手を差し伸べて自分のできることをして人と関わろうと思いました。一步一步やってきて少し自信にもなってきたし、同囚や職員からも、「頼むな」「面倒みてやってくれな」と言われるようになりました。

担当が「人のことをやるな、手伝うな」と言うのは、おかしいことだと思えます。あの言い方は、今まで僕が目標としてやってきたこと、任されてきたこと、それで得た自信や信頼、全てを否定された気分になった、ということとを本人に伝えました。担当は、「全否定するつもりはない。ただ、自分でやることは自分でやるようにしないとダメだ」と言っていました。気がついていない、忘れていたのを「自分でやる、やれない」と語るのは違うと思ったし、甘えて「やってほしい」と言ってきたのでもない（そういうとき

は「何甘えてんの!」と言う）。困っている人、できない人（言い方悪いけど）がオロオロしているのを笑ったり馬鹿にしたりして、手を差し伸べず見ているだけの人と、「ダメだよ」と教えようとする人、どっちが正しいのでしょうか？問わなくても分かることです。

担当に、「その言い方はムカつきますね」と言うと、「そういう考え方もあるんだな。別にムカつかれても嫌われてもいい」と言われ、これ以上話しても無駄と思い、それでやめました。この職員は信用できないと分かり、理解してもらおうとも思わなかったです。揉め事はなくなるかもしれないけど、（できない人への）イジメが増えるだけで、結局それが揉め事の原因になります。ルールや規則を守るより、正しいことをしようと思った出来事でした。



きりさん「号旗」

他者の持つ豊かさを

評価することを学ぶ

N 刑 K さん

フランススコ教皇の言葉を読み、正直、今まではお堅いイメージというものが強く、どんな方なのか分かりませんでした。意外とフランクな方で親しみやすく、また、本当に私たちのことを想っているのだなと感じました。色々と考えさせられたり、自分を見つめ直したりする時の参考になります。特に、「恐れは、つねに善の敵」「人を軽んじ、蔑むとは、上からその人を見下げること」という言葉は私をドキッとさせました。日々の生活の中でたくさん思い当たることがあるからです。

私はこれまで割と順調な受刑生活を送ってきており、今は班長としてやっているのですが、周りで、きちんとやっていない人、できない人を、「こんな所まで来てやれないなんてクズだ」と考え、見下してきました。自分だって、刑務所に来るような人間であるにも関わらずです。どうしようもない人間なのだと改めて気付かされました。

一方で、「手を差し伸べ起き上がらせるために、下にいる人を見るのなら、その人は立派」「とても大切なのにあまり評価されていないよいものはよくむくことが求められます」という言葉は、今後の生活の中で大切に

していきたいことだと感じました。先日頂いた手紙にあったように、今日この時が本番だと思い、居場所を作るために心掛けたい言葉です。

他者の持つ豊かさを評価することを学ぶ、ということとはなかなか難しく、私などは特にそうですが、相手の欠点ばかりに目がいき、そこから攻撃したり、軽蔑したりという行動にいきがちなので、近頃は、生活の中で他者の良いところを見つけようと、意識して接するようにしていますが、なかなかすぐに上手くはいきません。反省が多い日々です。いつも、今やっていることや考えていることは、相手に手を差し伸べることなのか、自己満足ではないのか、悩んでしまっています。気持ちだけが先走ってしまい、逆に周りの人を傷付けてしまうこともよくありますし、悪い評価をされることもよくあります。今まで他人のことを考えて行動したことがあまりなく、刑務所内では全くなかったので、大変ですが、そういう苦勞もまた楽しくもあります。

もし、たよりを読まずに捨ててしまっていたら、このような気付きはなかったはずですが、たよりを読んでみると、届いたたよりなどを読まずに捨ててしまう受刑者がいると目にしますが、せめて一読だけでもすれば、これだけの気付きのチャンスがあるのに、もったいないと思います。差し伸べた手を払われるのはとても悲しくなると思いますし、私はそう

いう経験もしてきたので、とても残念です。

今年に入ってもまだ災害の影響で材料が来なくて、今は他の班の作業を手伝っており、班の全員がモチベーションを保てなくなりつつある中で、できるだけモチベーションを上げて作業をしてもらいたく、色々と考えて、他の班の班長などと相談してサポートしようとしています。なかなかスムーズに上手くいきません。工場全体の売り上げを伸ばすために、私の班ができるベストなことを日々悩みながら生活しています。考える時間はたっぷりありますし、私自身、考えることは好きなので、今後も班や工場がより良くなれるように、悩んでいこうと思っています。

私の今年の目標は、「キレて怒鳴ったりしない」ことです。実は、刑務所に来て毎年同じ目標を誓うのですが、毎年失敗してしまいます。ですが今年こそはと、今まで以上に強く決心しています（なにぶん、短気でティファールってあだ名がつくくらいでして…）。



一兵さん

川柳

藤さん

・くだらない うわさ話に まどわされ

・よそ工場 人の顔ぶれ 気にかかる

看護師 中谷先生による

健康相談窓口

口腔ケア

早いもので季節は春へと移り変わっていますね。皆さまいかがお過ごしでしょうか？

少し、私のことをお話しさせて頂きます。

二月六日にG刑務所の担当者様四名方へ、健康維持増進ケアモデルの必要性をご理解して頂ける様に説明をしてきました。なかなか、手強い印象もありましたが、それでもできる限りのことはしたい、と最後は力強く語って

きました。どこまで私の思いが伝わったかは疑問も残りますが…この結果は、たよりが発行されている頃には出ていくでしょう。

理事長が、今年の目標として「門を叩く」ことを掲げておられました。その目標に向かって私も少しずつ前に進みますね。

また、通信教育講座には沢山の方々が参加してくださっており、嬉しく思います。皆さんが健康的な状態で施設を卒業されますようにと願っています。お便りも沢山頂いており、反響の大きさに驚きと、また、努力したことが報われているのだと思うと感慨深いです。今後ともよろしく願います。

今月は、口腔に関するケアについてお便りが多く寄せられていますので、お伝えしますね。通信教育講座の中で触れている箇所もありますが、追加してお伝えします。

口腔の働きには、生命を維持する、コミュニケーションを図る、食いしる、身体バランスをとる、顔の形を維持する、ということが挙げられます。

人間が健康に生きていくためのことが多く含まれている器官です。

子どもの頃から、虫歯で痛い思いをしてきた方もおられるでしょう。虫歯の原因は、細菌、糖質、歯の質、時間の経過が合わさって

できます。そのため、どれかを外してしまえば逆に虫歯になりにくいとも言えます。

虫歯菌を測定するRDテストという検査キットがあり、唾液を抽出して自身の虫歯菌を測定することを施設内で行ったところ（女性対象三十八名）、やはり歯の数が少ない人には虫歯菌の数も多い、という結果が出ました。そして、その方々には歯周病の症状が現れていました。

近年、三十〜五十歳の八割以上が歯周病を持っているという統計結果も示されています。歯周炎と歯肉炎という症状の説明を加えておきます。

○歯肉炎：炎症が歯肉だけの状態

○歯周炎：炎症が歯槽骨や歯根膜まで広がった状態

歯周病に関してですが、脳梗塞を起こした人の梗塞した細胞を調べると、歯周病菌と同じ菌が検出されたという結果も出ています。

以前、私が病院で勤務していた頃、三味線のお師匠さんが脳梗塞で入院をされてきました。しかし、脳梗塞の一つの症状として、商売道具の右手が麻痺（まひ）…一般的には、四肢などが完全に機能を喪失していることや、感覚が鈍って、もしくは完全に失われた状態を指す）となり、言語障害（げんごしょうが

い…言語の適切な理解と表現が困難な状態）も残りました。その方の病気の発症要因を追跡していくと、原因は歯の詰め物が外れた状態を放置していたことでした。そして、痛みが強くなるため、正露丸（腸の運動と機能を正常に戻す薬）という黒い薬をその詰め物代わりに詰めて仕事をしていたとのことでした。しかし、すぐに正露丸も外れるため、次の手段として、アロニアルファ（瞬間接着剤）をそこに埋め込んでいたそうです。

その発想には大変驚きですが…なんと、アロニアルファを入れた歯の奥から、歯周病菌に感染し、その菌が梗塞物とともに脳に飛んでしまつて脳梗塞を起こした、という結果に至りました。本人は、仕事が忙しすぎて治療へも行けなかったため、やむを得ずの手段だったと言っておられました。

まさか、歯が原因でこんなことになるとは思っていなかった、悔しい、と言っておられた姿が今でも忘れられません。

歯ブラシによるケアのポイント

一、歯ブラシは鉛筆持ちをしてください。決して握らないこと（力が入りすぎると、歯茎や歯の表面のエナメルを痛めます）。

二. ブラッシングする際には、歯ブラシの毛先が歯の一本一本に当たっていることを確認してください。磨いたという自覚だけでは磨けていません。歯先を当ててください。

三. 奥歯のような大きな歯は、ひと磨きでは不十分です。

○奥歯を三つに分けて歯茎まで十分に（分け方は問いません）。

○奥歯のくぼみまで。

○反対側の歯茎までも。

○歯茎と歯の形状に合わせて歯ブラシの向きを変えながら磨きましょう。歯ブラシの挿入方法を、自身の口のサイズや歯の形状に合わせて歯に当ててください。

四. 歯磨きの順番は自身で決め、毎回同じにして磨き残しを防ぎましょう

五. 歯だけでなく、歯肉もマッサージするように磨きましょう

以上、この方法が続けていかれると、口腔環境は変化するはずですよ。

歯ブラシの選択は、ストレートタイプで柔らかいものを選ばれることをおすすめします。



右図：歯周病と関連する全身の病気について
(<https://www.jacp.net/perio/effect/>)



元・貴族は餃子好き♡さん

五十嵐亜利沙（妻）による

ラブリイDAYS

二月で二歳になった次女のRちゃん、当事者さん達からはアンパンマンのおもちやをもらいました♪受刑者の方からも、メッセージ付きの可愛い絵が送られてきました。お祝い金まで送ってくれた受刑者の方がいました！皆さん本当に有難うございます！！

「塀の中のたより」のボリューム少なめ版です

つぶやき！

教皇フランシスコと理事長が表紙を飾ったより十二月号は、特に感慨深かったです。教皇のメッセージはもちろん、理事長の言葉に胸を打たれました。それは、「教皇にハグして頂き、頭に手を置きお祈りして頂き、もう号泣です」のところですよ。この文章を読んでは、表紙に戻って涙目の理事長を見る、を交互に繰り返しているうち、私までもううるるともらい泣きしてしまいました。

（O刑 Mさん）

専門インストラクター ニロ先生による

プリズムアート倶楽部

★このコーナーは、絵画の模写を体験するものであり、絵画技法の習得を目指すものではありません。模写（アレンジOK）の投稿を募集中です。

★当技法についての詳細を知りたい方、また、作品発表等について考えている方は、規定が設けられているため必ずご相談ください。

【つくし】



【今月号のコツ】小さな花と、花の茎や双葉で、つくしを囲む様なイ

メージで描いてください。ハートやちょうちよ、そして、春の暖かな日に生えるつくしを描きながら、各自の春の思い出を楽しんでください。つくしに顔を描いて、表情を出しても楽しめますので、お好みで描いてみてください。

形は、ハンドペイントの良さを生かして、不揃いでも、何でも構いません。見本の絵と全く同じではなく、アレンジして、楽しく描いてください。絵は、自分の中のイメージを表現する事が大切なので、自由に、楽しみながら、表現されてください。

【解説】ボタニカルファインアート技法とパステルアートのコラボレーションで描いていますが、ボールペンや鉛筆等、入手し易い文具で描いてくださって結構です。ボールペンは、PILOTの細いペン等が推奨されていますが、描きやすいと感じるもので良いと思います。鉛筆は、形が見やすいように、B以上のもので濃く描くと、質感も柔らかく、描きやすいです。HBやH等ですと、固い質感の為、描きにくいかと思えます。

文通をされている方は、見本の絵を色々とアレンジして、便箋や封筒に描くと、楽しく可愛いアクセントになりますので、ぜひお試しください。

みんなの！
回復プログラム入門

【叫びたくなる時（二〇一九年七月号）】

- ①最近、私が最も「叫びたい！」という気持ちになった瞬間はいつですか。また、それは何故ですか。
- ②その時、好きなだけ叫べたら、何を叫んでいましたか（当時の気持ちで）。
- ③今、当時の自分に声を掛けるとしたら、どのような言葉を掛けますか。

☆

- ①作業中に叫びたい。同じ物を作れと言われてたが、全く同じ物はできなくてキレそうになった。一ミリ以下単位の作業は、老眼鏡を使っても見えなくてイライラしたからです。ちなみに革靴のパーツ作りです。
- ②こんな細かい作業やつてられるか、俺は目を手術してるから細かい作業はできねーって何度も言ってるんだが、もう一年以上やってんぞオイッ！

- ③刑務所だから仕方ないよ、我慢我慢。辛いのも、目が痛くて泪流しているのも分かるけど、やるしかないよ、報奨金また下がるの嫌でしょ？（叫べば、懲罰になり、報奨金が千円以下になる）（N刑 Mさん）

回復プログラム 入門

★このコーナーでは、自分の心を書き出す練習をします。マザーハウスの回復プログラムに既に挑戦しておられる方も、ぜひ取り組んでみてください。

【コツ】綺麗に書こう、丁寧に書こうとせず、リラックスして、出てきた思いをそのまま乱雑に書き出す。後でやろうと思わず、数行書くだけでも、今やってみる。

【補足】よろしければ、書いた内容を編集局にお送りくだされば幸いです（基本的にはたより掲載の予定ですので、掲載を希望しない方は掲載不可と明記してください）。また、ノート等に写し、後で見返せるようにすることをおすすめ致します。

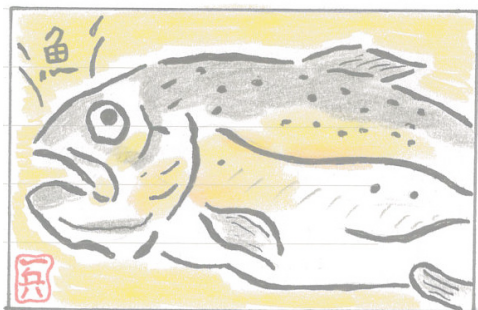
★今月号のテーマ：【悲しい】

①私が最近「悲しい」と感じたことは何ですか。

②なぜ、「悲しい」と感じたのでしょうか。

③「悲しい」から他の感情に変わるのは、どんなときですか。また、どんな感情に変わりやすいですか。

一兵さん



行事予定

▼3/17

川越少年刑務所にて、面会

▼3/23

弁護士との裁判の打ち合わせ

▼4/2 18:00～

当事者ミーティング

▼4/3 17:00～

マリアカフェにて、APS 研究会（参加自由）

▼4/3

東京地方裁判所刑事部にて、
情状証人として出廷

▼4/10 18:00～

龍谷大学にて、APS 研究会（参加自由）

事務局は見た！獄中会員あるある

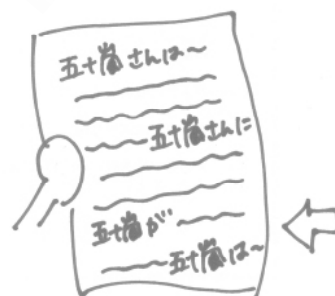
さあて、今日も
お手紙の開封
作業を頑張る
かー！



↑机の上の手紙



理事長の名字が長い
ので、書いているう
ちに混乱して、途中
から「五十嵐は～」
と呼び捨てになっ
ている！！
(あるある度5%)



編集後記 by 編集局

「もっと被害者の声を載せてほしい」というお手紙がたくさん寄せられますが、なかなか「刑事施設の方に読んで頂いてもOKです」となることが難しいです。これからも地道に編集局でできることを続けていこうと思います！

ご支援 本当にありがとうございます！

2020年1月21日～2020年2月10日の寄付金
(内訳不明分も寄付金として含んでおります)

合計：174,460円
(内 愛のプリズム宣教基金：2,000円)

お知らせ

【重要】 下記に当てはまる場合は、事務局までお知らせ頂きたく、宜しくお願い致します。

○突然たよりが送られなくなった

○刑期（出所日）が変更された

○現金書留もしくは切手を送ったが、2か月が経っても受領書が届かない

○入会申込書もしくは会費を送ったが、2か月が経ってもマザーハウスから何も届かない

○年金に関する手続きを希望する

○聖書（寄贈された中古のものです）の送付を希望する（送料800円分が必要です）

【NEW】 会費やフランシスコの費用を切手で納める場合は、84円以上の切手のみ受け付けております（ただし、手元に82円切手が残っている場合は、82円切手も可）。

・また、切手を現金に交換する際、手数料が5円かかるため、算入額は一枚につき5円ずつ引いた額となります。（例えば、100円切手を5枚送った場合は、500円－手数料5円×5枚分＝475円としてカウント）。

【NEW】 フランシスコを利用される際は、対応まで最大4か月ほどかかる可能性があることをご了承ください。

○身元引受不許可に関するお問合せが多いですが、マザーハウスでも詳細が不明なため、観察所に直接お問合せ願います。

・決定を出してもらえよう、当法人側でも尽力しておりますが、受刑者の皆さんからも観

察所へアプローチして頂ければと思います。

・なお、有期刑の場合、マザーハウスでやり直したい！という方は満期出所後のサポートも可能です。出所日の朝に必ずお電話ください。ただし、あくまで当分の住居や仕事がほしいだけ、という方はご遠慮くださいませ。

○たよりのコンセプトは、刑務所と社会の双方に向けて、「こういう意見・思いが届いています」と発信して橋渡しをすることなので、「すごく共感できる」「勉強になった」と感じることもあれば、「なんだか自分の考えや感性と違うな」と感じることもあるかと思います。こういう考え・感性の人が刑務所・社会にいて、マザーハウスを通して自分と繋がりを持っている、という感覚で読んで頂ければ幸いです。たよりを読んで、率直に感じた自分の心の動きを見つめるため、また、刑務所や社会にいる人々に触れて知って繋がるための、一つのツールとして、自由に役立ててくだされば嬉しいです。

・そして、ありのままの素直な文章を届けたい、ということから、投稿文以外の普段の（事務局宛の）お手紙から抜粋して掲載することがあります（受刑者の皆さんは、入会申込書に同意欄があります）。ですので、「掲載してほしくない」というお手紙・絵画につきましては、都度「掲載不可」と明記して頂きたく、よろしくお願い致します。

・なお、たよりはマザーハウスのホームページでも公開されます。

マリアコーヒー（ルワンダ・コーヒー）

＊製造から販売まで、元受刑者が携わっております。

FAX: 03-6659-5270

メール: maria_coffee@motherhouse-jp.org (QR →)

価格: 粉200g または 豆200g …… 900円+税

カフェドリップ10g (1回分) …… 100円+税



☆継続して購入・販売してくださっている皆さま（順不同）☆

カトリック茅ヶ崎教会／カトリック北仙台教会／カトリック所沢教会／カトリック浜松教会／カトリック東山教会／カトリック布池教会／カトリック菊名教会／カトリック中和田教会／カトリック新子安教会／カトリック碑文谷教会／カトリック桃山教会（平和環境部）／カトリック東仙台教会／カトリック春日部教会／カトリック足利教会／カトリック神田教会／カトリック太田教会／カトリック大分教会／カトリック西千葉教会／カトリック下井草教会／カトリック新潟教会／カトリック多治見教会／カトリック芦屋教会／カトリック鷺ノ宮教会／カトリック松戸教会／ドン・ボスコ社／クリスト・ロア宣教修道女会／日本カトリック神学院／聖母訪問会



☆ルワンダの祈り☆

ルワンダでは、1994年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。

しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

獄中POSTシリーズ

＊獄中ボランティアの方が描いた絵画や文字を、ポストカード・封筒・便箋に印刷する企画です。

FAX: 03-6659-5270

メール: motherhouse.tayori@motherhouse-jp.org (QR ↑)

入手方法: 講演会等での販売のほか、ご注文を受け付けております。

☆ポストカード／封筒は1枚300円、便箋は10枚300円

☆ホームページにカタログ（随時更新）がございます。

☆収益は全て、身寄りのない方の住宅支援に充てられます。

また、ご寄付・ご支援くださった方に、デザイン等ランダムでお贈りしております。



マザーハウスたより 20'3月号

発行日: 2020年3月15日 発行責任者: 五十嵐 弘志

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-17-102 NPO法人マザーハウス



↑ 理事長 Facebook

↑ 理事長奥さんブログ

↑ MLP問合せ

ラウレンシオ（便利屋業）

＊元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、掃除などをさせていただきます。お見積りは無料です。

TEL: 080-4614-8508

FAX: 03-6659-5270

メール: lawrance@motherhouse-jp.org (QR →)



古本募金（きしゃぽん）

＊書籍やDVDを下記送り先にご寄付頂くと、

マザーハウスに還元されます。

送り先: 〒358-0053 埼玉県入間市仏子916

マザーハウス きしゃぽん係

（マザーハウス事務所に送らないようお願いください）

TEL: 0120-29-7000

カウンセリング

＊当事者やご家族の方を対象に、専門家がカウンセリングを行います。

※価格は別途かかります。

メール: counseling@motherhouse-jp.org (QR ↓)



お問合せ

いつも有難うございます。随時ボランティアの方を募集しております。

TEL: 03-6659-5260

メール: info@motherhouse-jp.org (QR →)

ホームページ: 「NPO マザーハウス」でご検索ください。(QR ↓)



ご支援

☆正会員（一口5000円／年） ☆賛助会員（一口3000円）

☆社会復帰支援（ご寄付）を随時募集しております。

→振込口座名:

特定非営利活動法人 マザーハウス 【トクヒ）マザーハウス】

郵便振替口座 … 00170-0-586722

みずほ銀行 … 新宿支店 普通口座 2376980

☆洋服等の物資の送付先:

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-18-1F マザーハウス

(TEL: 03-6659-2110)